

【第1回学校関係者評価委員会 報告】

日 時： 令和5年7月12日（水） 10:00～11:00
参 加 者： 校長,教頭,事務長,四部主任(教務,進路指導,生徒指導,保健),評価委員(5名)
会 順： (1)委嘱状授与 (2)校長あいさつ (3)学校関係者評価委員・職員紹介
(4)学校からの説明

- ・令和5年度学校評価実施計画について
- ・令和5年度学校経営概要について
- ・令和5年度の主な取り組みについて
- ・いじめ防止基本方針といじめ対策年間計画について（生徒指導部）
- ・服務規律の厳正確保に関する指導計画について
- ・令和4年度資格取得状況報告（教務部）
- ・令和4年度進路決定状況報告（進路指導部）
- ・4月～7月中旬までに新聞報道された本校関係記事の紹介

(5) 意見交換

〔意見交換内容〕

- ・電動バイクはいつから使用となるのか。とてもいい取り組みである。充電施設等
- ・日置市内の就職先にはどういうところがあるか。→令和4年度進路決定状況から
- ・バス定期便廃止の件はどうなっているのか。
- ・電動バイクがあれば、地元中学校（吹上中,日吉中など）の生徒が通学しやすくなる。
→令和5年の夏休みから、バイク通学6km以上の条件を撤廃した。
- ・公立高校より私立高校の方が面倒見がいい。
- ・吹上高校の魅力をアピールすることが大事である。
- ・自転車のヘルメット着用について →令和6年度からヘルメット着用を義務化する。
- ・ジェンダーレスの制服はどうなっているか。→女子のスラックスを認めている。
- ・学校紹介ビデオの配信はどうなっているか。→県での取り組みを伝えた。
- ・補習の取り組みはどうなっているか。 →資格取得のために取り組んでいる。
- ・部活動の取り組みはどうなっているか。 →土日のうち、一日は休日としている。

【第2回学校関係者評価委員会 報告】

日 時： 令和5年11月27日（月） 9:50～12:00
参 加 者： 校長,教頭,事務長,四部主任(教務,進路指導,生徒指導,保健),評価委員(5名)
会 順： (1) 校長あいさつ
(2) 学校からの説明

- ・令和5年度服務規律の厳正確保に関する指導実施計画と報告
- ・令和5年度「学校評価アンケート」について
- ・7月下旬～11月末までに新聞報道された本校関係記事の紹介
- ・校内案内と授業参観（教室と実習棟）
- ・教務部・生徒指導部・保健部・進路指導部から

(3) 意見交換

〔意見交換内容〕

- ・ 3年先を見据えて指導を行っている。
- ・ 電子機械科の実習室がとても整理整頓されている。すばらしい。
- ・ 特別支援を要する生徒にどのようなサポートをしているか。→放課後個別指導等
- ・ 学校生活が楽しそうだ。学んだ事を活かせる取組をしている。
- ・ 学校外部にアピールする方法を検討して欲しい。
- ・ 私立に合格すると、公立を受験しない傾向がある。
- ・ 活動内容を同窓会として誇りに思う。
- ・ 部活動に入らず、地域のクラブ等に参加している生徒も把握してはどうか。
- ・ 吹高だよりはどこの中学校まで配布しているか。→日置市,鹿児島市,南さつま市等
- ・ 100周年に向けて、同窓会と学校の協力体制を築きたい。
- ・ 電動バイクの市の助成はいつからか。

【第3回学校関係者評価委員会 報告】

日 時： 令和6年2月13日（火） 10:00～11:30

参加者： 校長,教頭,事務長,四部主任(教務,進路指導,生徒指導,保健),評価委員(5名)

会 順： (1) 校長あいさつ

(2) 学校からの説明

- ・ 令和5年度の主な取り組み
- ・ 教務部・生徒指導部・保健部・進路指導部から
- ・ スクール・ミッション, スクール・ポリシーについて
- ・ 令和5年度服務規律の厳正確保に関する指導実施内容の報告
- ・ 12月～2月までに新聞報道された本校関係記事の紹介
- ・ 学校評価アンケート結果報告

(3) 意見交換

〔意見交換内容〕

- ・ 勉強時間の少ない生徒には、目標を持たせるような指導をして欲しい。
- ・ 先生方の頑張りがよくわかった。進路指導や資格指導に力を入れているところに感心している。
- ・ 自己指導力の育成が大事である。生徒に考えさせて欲しい。
- ・ 生徒個人に合わせた個別最適な学びを、タブレットを使って実現して欲しい。
- ・ 今年、出前授業に出向いた学校はどこだったか。→加世田中学校,伊作小学校
- ・ 最近、個性を大切にしよう言われているが、しっかりとした線引きは大事である。相手に失礼のないように、身なりを整えることが大事だ。
- ・ 生徒指導は、まず生徒の言うことに共感して、少しずつ方向性を示してあげるようにしてはどうか。
- ・ 本の貸出冊数が減ってきている。対策どうしているか。
→図書便り発行(生徒・職員のお薦め本紹介,多読賞,新刊紹介(充実している))
- ・ 公立に進学するしかない生徒がいる。穏やかな雰囲気の中で育てて欲しい。